

ミュージアム・ボランティア募集のご案内

兵庫県立美術館では、美術館のパートナーとして活動していただく
“ミュージアム・ボランティア”を募集します。

1 応募資格

18歳以上の方で、原則として下記の「ミュージアム・ボランティア養成セミナー」を全7回受講できる方。

ミュージアム・ボランティア養成セミナー

(1) 日時(平成23年)

- 第1回 1月22日(土) 開講式 / 館長講演会
 - 第2回 1月29日(土) ミュージアム・ボランティアの歴史と現状、課題 / 事務手続きの説明
 - 第3回 2月5日(土) 兵庫県立美術館のさまざまな活動 (1)、(2)
 - 第4回 2月12日(土) 他館のボランティア活動
 - 第5回 2月19日(土) 兵庫県立美術館のボランティア活動(1)
 - 第6回 2月26日(土) 兵庫県立美術館のボランティア活動(2)
 - 第7回 3月5日(土) 兵庫県立美術館のボランティア活動(3) / 閉講式 / 登録受付
- 時間はいずれも 10:30 ~ 12:00

(2) 場所

兵庫県立美術館

(3) 定員

40名 申し込みが定員を超えた場合は、抽選で受講者を決定します。

(4) 応募方法

往復はがきに、氏名 郵便番号、住所 電話 / ファックス番号 / メールアドレス
性別 年齢、ボランティア活動ができる曜日 / 時期(記入例:「毎週 曜日」、「
月以降」など)、「博物館ボランティア入門セミナー」及び「博物館ボランティア合同セ
ミナー」修了者はその修了年をご記入の上、下記までお申し込みください。

(応募の際収集した個人情報は、本セミナー以外の目的には使用しません。)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1 兵庫県立美術館ボランティア養成セミナー係

(5) 受付期間

平成22年11月20日(土) ~ 12月25日(土)

2 活動内容

展示解説、ワークショップやイベントの補助、資料の整理など

3 登録期間

平成23年4月から1年間とし、以後は毎年登録を更新していただきます。

4 問い合わせ先

兵庫県立美術館 教育支援・事業グループ ボランティア養成セミナー係

078 - 262 - 0908 Fax078 - 262 - 0903 URL <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

ミュージアム・ボランティアを知っていますか

兵庫県立美術館「芸術の館」では、現在230名のボランティアがメンバー登録をして日々活動を行っています。

〈資料班〉・〈解説班〉・〈こども班〉の三つの班による活動のほか、館内で幅広く活動を行っており、事業活動にとって欠かすことのできない力として、美術館を支えているとって過言ではありません。

〈資料班〉

美術資料室の資料の収集・整理を主な活動としています。

その作業内容は、美術関係の新聞記事・個展案内葉書等の仕分け・整理等です。新聞記事では、一般紙からの美術関連記事を作家別にファイルし、情報や事柄を分類し、また個展やグループ展の案内葉書、パンフレット類についても同様にファイルします。

〈解説班〉

館内の「コレクション展」(常設展示)のガイドを主な活動としています。

「コレクション展ガイドツアー」を毎金・土・日曜の午後に実施しています。ガイドの場所は、各1・2Fの展示、そして野外展示に分かれていて、それぞれを選んで行っています。

〈こども班〉

年間12回余開かれる「こどものイベント」の補助・手伝いが主な活動です。

「こどものイベント」は、土・日曜日を基本に随時開催されます。小・中学生が特別展やコレクション展を見学し、そこからイメージした作品を作るなどのイベントが行われますが、ボランティアは展覧会場のガイド、作品製作の補助等を行います。

以下、その他のボランティア活動です。

団体鑑賞

主に平日、課外授業や部活動として来館する児童・生徒たちの学習や鑑賞がスムーズに進むようお手伝いをします。

学芸員の解説やギャラリートークの後、子供たちと一緒に絵や彫刻を見て、子供たちに「美術館っておもしろい、また来たい」、そんな感想を持ってもらえるように活動しています。

美術情報センター

センターでの活動は、閲覧図書や館内掲示ポスターの整理です。それぞれ来館者サービスの一環として実施しています。

図書の整理は、センター内の閲覧書棚の本や図録等が乱れているのを整頓していく作業です。ポスターの整理は、全国各地で開催されている展覧会のポスターを新しいものと入れ替える作業です。

特別展スライド解説

上記の解説班「コレクション展ガイドツアー」とは異なり、特別展の概要と作品の解説をレクチャールームでスライドを使って行います。

「美術館の七不思議ツアー」ガイド

当館の建物の隠れた見所を案内する「ガイドツアー」です。ボランティアが作ったシナリオによってご案内をしています。今のところ「美術館の日」や「文化の日」のイベントの企画プログラムとして行っています。

兵庫県展・美術の中のかたち展の補助

「兵庫県展」は、県民対象の公募展であり、県民が中心の美術展であることを認識し、ボランティアも積極的に参画しています。その作品の受付・返却・審査の補助、あるいは会場監視等の運営補助の作業を受け持っています。

また、「美術の中のかたち展」は、来場者が作品に“触れられること”を主眼に置いた企画展であり、会場でのボランティアの関わりが来場者の作品鑑賞の大きな助けになります。